

愛教大教授が 地獄絵図解説

一宮できょう

愛知教育大教授で、地獄絵に詳しい鷹巣純さんの講演会「一宮の地獄絵―熊野観心十界図を絵解く―」が、二十一日午前十一時から、一宮市大和町妙興寺の市博物館で開かれる。

一宮市西萩原の浄観寺

所蔵の「熊野観心十界図」を中心に、地獄絵図について分かりやすく説明する。

学芸員の石黒智教さん(左)は「地獄は想像の世界にすぎないかもしれないが、そもそも地獄は何なのか、入り込みやすく解説してくれる。絵を細部まで見て、自分なりの解釈をしてほしい」と参加を呼び掛け

ている。

二十九日には、名古屋大学院准教授の梶原義実さんが「尾張平野の古代寺院と古瓦」と題して、八月二十六日には相山女学園大准教授の見田隆鑑さんが「一宮のほとけたち―地域の仏像に親しむ―」と題して講演する。小中学生は無料。

◎同博物館 0586(46)3215